

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	企業導入・産業活性化措置	養殖漁業用作業保管施設建設 工事補助事業	泊村	51,500,000	51,500,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
	企業導入・産業活性化措置	養殖漁業用作業保管施設建設工事補助事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		泊村		
交付金事業実施場所		泊村大字泊村		
交付金事業の概要		養殖漁業用作業保管施設建設工事への補助 施設を整備することにより、ホタテ養殖漁業の営漁環境を早期に向上することができるとともに本村の今後の漁業を担う若手漁業者の漁家経営の安定化を図るため、電源立地地域対策交付金を活用致します。		
総事業費	51,500,000	交付金充当額	51,500,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	51,500,000	
交付金事業の成果目標		<p>当村では、主として、刺網や定置漁業・底建網漁業・イカ釣り漁業や、ウニ・ナマコ・アワビ・採介藻などの浅海漁業及びホタテガイ養殖業といった沿岸漁業を基幹漁業とするが、温暖化やトド被害による水産資源の急激な減少に加え、過疎化・高齢化に伴う漁業後継者不足などにより、浜から従来の活気が失われつつある。</p> <p>近年、ナマコの急激な価格高騰やブリの来遊量の増加が見られるものの、秋サケや、依存度の高いスルメイカ、ホッケ、スケトウダラなどの回遊性資源の不振が続く中、今後の村内経済への大きな影響が懸念される。これらのことから古宇郡漁業協同組合では回遊性資源に依存しない、計画的かつ安定した生産体制を構築するため、沿岸漁業者グループが33基のホタテガイ養殖施設を整備し、水産庁の「もうかる漁業創設支援事業」を活用して経営の多角化の実証事業に取り組んでいる。当該施設は主にこのホタテガイ養殖資材の補修と保管作業の環境改善を目的に整備します。これにより、発電用施設の設置及び運転の円滑化のため、地域の理解を促進していきます。</p>		
交付金事業の成果指標		養殖漁業用作業保管施設建設工事は、平成28年度に完成します。完成後は直ちに主にホタテガイ養殖資材の作業保管施設として利用します。現有資材(養殖カゴ10,700連、目安玉678個、調整玉3,024個、養殖網他)のうち、当該施設には、養殖カゴ9,600連(約90%)が収容可能になります。		
交付金事業の成果及び評価		養殖漁業用作業保管施設建設工事は平成28年度(12月15日)に完成済みで、完成後は直ちに主にホタテガイ養殖資材の作業保管施設として利用しています。また、現有資材については、約90%を収容する事ができました。引き続き、ホタテ養殖漁業の営漁環境を向上させるとともに、本村の今後の漁業を担う若手漁業者の漁家経営の安定化を図っていきます。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
養殖漁業用作業保管施設建設工事への補助		補助	古宇郡漁業協同組合	51,500,000
計				51,500,000
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H29

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載